

2025 年度「卒業研究」（社会学科）課題

春学期：杉浦郁子・前田泰樹・野呂芳明・中澤渉・片上平二郎

秋学期：三輪哲・石川良子・本多真隆・李ミン珍・山本崇記

各学期について、2つの課題を選択し、4つの課題について4月3日(木) 15時までに Google フォームで希望を提出すること。課題について詳しくは、[R Guide](#)に説明がある。また、各学期、第一回の授業に出席すること。

各課題は4000字以上(図表込み)とする。4つの課題で16000字以上は書くことになる。執筆の際には、第三者が読んでも分かりやすい文章になるよう、注意すること。立教大学 大学教育開発支援センターwebにある Master of Writing を、よく参考にすること。ページ数をきちんと表記すること。

また、文献を引用する際には、剽窃がないように注意すること。引用元を明示せずに引用すると、盗作したことになる。また別の教員の課題に、ほぼ同じ内容の課題を提出することも不正行為となる。引用法や引用形式について、十分に注意すること。

春学期

【社会1】杉浦郁子

性をめぐる固定観念や規範は、個人の経験や社会のしくみに様々な仕方で影響を与え、ときに特定の集団を排除したり、深刻な問題を生じさせたりしている。現代日本で観察される性をめぐる格差、不平等、排除などの現象を1つ取り上げ、以下の内容について4000字以上のレポートとしてまとめなさい。

- ①取り上げる現象の概略をまとめなさい。
- ②その現象がどのようなメカニズムやプロセスで生み出されているのか、また、そのメカニズムやプロセスに性をめぐる固定観念や規範がどのように関係しているのかを分析しなさい。
- ③取り上げた格差、不平等、排除はなぜ解消されるべきなのか、また、どうしたら解消できるのかを考察しなさい。
- ④格差、不平等、排除の解消のために、あなたが個人で出来そうなこと、行動に移したことなどがあれば、それを紹介しなさい。

注1) レポート内で、5点以上の社会的な書籍や論文を引用参照すること。また、現象の実態を示すために、質問紙調査データ、インタビューやモノグラフなどの質的データ、新聞社による調査報道記事などを積極的に引用参照すること。

注2) ①～④までの内容が含まれていれば、どの順番で論じるかは自由。構成を工夫し、章や節に適切な見出しをつけること。

【社会2】前田泰樹

「出生」「病い」「老い」「死」といった、私たちの人生において生じうる経験は、新しい知識や制度のもとで変化している。これらの私たちの経験のあり方とその変容について、自ら具体的なテーマを一つ設定し、社会学的に論じなさい。

その際、下記の資料を参照すること。(1) 設定したテーマにかかわる社会学の著作・論文を3点以上(うち1冊以上は、質的研究にもとづく十分な分量のあるモノグラフであること)。(2) 設定したテーマにかかわる主張を論証するための根拠資料3点以上(関連する法や条例の条文、省庁などで公開されている資料、医学論文や医学的知識を説明する資料、公開された闘病記、当事者団体等で公開されている情報や体験、新聞報道などを含む)。これらの文献・資料は、すべて本文内で適切な仕方で引用し、末尾に引用文献表としてまとめること。

【社会3】野呂芳明

日本の少子高齢化と人口減少は、社会の各方面にさまざまな課題を顕在化させている。次の a. ~ c. のテーマから1つを選び、以下のように論述しなさい。

- (1) 選択したテーマを明記する。
 - (2) 自身のレポートの内容にふさわしいタイトルをつける。
 - (3) 選択したテーマについて、少子高齢化と人口減少がなぜその課題を顕在化させることになったかを述べる。
 - (4) その課題の概略について統計データ等の客観的資料を適宜引用しつつ簡潔に説明する。
 - (5) その課題に対して国家や地方自治体などの公的部門がどのような政策を展開しているか具体的に(事例を挙げるなどして)説明する。
 - (6) その政策的対応の社会的効果や課題点について考察する。
 - (7) レポートをまとめるにあたっては、単行本や論文など5本以上参照し言及すること。
(テーマ(1つを選択))
- a. 持続可能な福祉・社会保障のありかた
 - b. 地方分権、地方行財政の課題
 - c. 多様な人びと、ライフスタイルが共生する社会

【社会4】中澤渉

学校の教員不足が深刻な社会問題となっている。このことを踏まえて、以下の3点すべてについて論じなさい。

- ① 教員不足の生じた背景には様々な要因が考えられるが、学校自体に求められる要因は何か、説明しなさい。
 - ② 続いて、学校以外の要因について、何が考えられるか。その要因について説明しなさい。
 - ③ 今後、教員不足の解消のためには、どのような解決策をとることが考えられるかを論じなさい。
- いずれも、文部科学省、厚生労働省、内閣府や総務省統計局などの出している統計情報などのデータ、文書資料、報道記事などに言及しながら論じること。また①、②、③のそれぞれの項目を分けて、どれについての記述なのかわかるように解答すること。その際、適切な形で先行研究の著作や論文を引

用し、末尾には引用した文献のリストをつけること。引用する文献（本・論文）は5本以上とする。なお、政府が出している審議会の資料、政策的な文書は、上記でカウントする本・論文の5本には含まれないので、注意すること。カウントしてよい文献なのか迷う時には、中澤に問い合わせること。

【社会5】片上平二郎

レポート課題

本課題では、文学というフィクショナルな作品を素材として、そこに映し出された「社会のあり方」「時代の気分」「文化のディテール」などを読み解き、それを手がかりに「現代社会」について考察することを目的とする。以下の指示に従い、**4000字以上のレポート**としてまとめなさい。なお、各要素が含まれていれば、①②③④の項目に分けずに論じて構わない。

①：以下の5冊の文芸評論書の中から1冊を選び、通読したうえで、その書名を明記すること。

- ・藤井義允『擬人化する人間 脱人間主義的文学プログラム』（朝日新聞出版）
- ・小川公代『翔ぶ女たち』（講談社）
- ・佐々木敦『新しい小説のために』（講談社）
- ・千街晶之『ミステリから見た「二〇二〇年」』（光文社）
- ・東浩紀『ゲーム的リアリズムの誕生 動物化するポストモダン2』（講談社）

②：①で選んだ評論書に関連するモチーフを手がかりに、2010年以降に執筆された小説を2冊選び、それらを評論書の内容と関連づけながら論じること。なお、選んだ小説は評論書内で紹介されていないものでなければならない。

③：②の分析をもとに、現代社会の特質について考察すること。

④：レポート内で、3点以上の社会学的な書物や論文を参照し、議論を補強すること。

（「小説」はあくまでも「フィクション」であり、「現実」を直接的に描き出すものではないことを念頭に置いて分析を行うこと）

秋学期

【社会6】三輪哲

現代日本社会における、社会階層による世論（あるいは社会意識）の分断を計量社会学的に検証せよ。扱う世論・意識は、自身の関心のあるもので構わない。分析の結果に基づき、4000字以上のレポートを作成すること。なお、レポートは、以下の条件を満たさなければならない。

- ① 社会意識や世論研究にかかわる文献（書籍や論文等）を3点以上読み、それらからわかることを整理する。
- ② それら文献でまだ明らかにされていないもので、社会階層と意識や世論との関連を予想し、ありうべき関連の在りようについて仮説を立てる。
- ③ 上記の仮説を検証するために、社会調査データのオンライン分析を、SSJDA Data Analysis (<https://online-data-analysis.iss.u-tokyo.ac.jp/>) によっておこなう。
- ④ 結果の出力を適切に加工して、レポートへと貼り付ける。（図表も文字数にカウントする）
- ⑤ 結果をもとに仮説の適否を判断し、結論を論じる。

⑥ タイトル、文献リストなども、適切に記述する。レポートの形式は『社会学評論スタイルガイド』へと従うこと。

なお、ここでいう社会意識や世論をあらわす変数としては、政党支持などの政治意識項目、環境意識項目、性別役割意識項目、主観的地位などの階層意識項目など、さまざまな意識変数が候補となりうる。また、社会階層的な地位をあらわす変数としては、職業、雇用形態、所得、学歴などが候補となる。データの分析では、クロス集計表や、相関・回帰分析などの諸手法から、目的やデータに適したものを選択する。

希望者に対しては、レポートのフォーマットファイルや、オンライン分析のマニュアル（データの探し方も含む）を配布することができるので、三輪まで問い合わせること。

【社会 7】石川良子

「大人になる」「自立する」とはどういうことか。①～③を4000字以上のレポートにまとめてください。引用・参照の仕方、文献リストなど形式は『社会学評論スタイルガイド』に準拠すること。

①まず、この問いに関連する5点以上の社会的な文献（書籍・論文）を読み、この時点での考えをまとめたうえで、インタビューで知りたいことを明らかにしてください。

②あなた自身が「素敵な大人だ」と思う人を2～3名選び（上記の問いについて語れるくらいに人生経験を重ねている年代の人）、ライフストーリー・インタビューを行ってください。

③最後に、インタビューをもとに上記の問いについて考察し、あなたなりの見解を示してください。その際は①でまとめたこととインタビュー内容を突き合わせ、新たに発見したことや気づいたこと、予想を裏切られて驚いたこと、感銘を受けたことなどを掘り下げることが大切です。

ライフストーリー・インタビューの参考文献は下記の通り（レポート本文で引用・言及した場合のみ文献リストに加えてもよい）。

桜井厚，2002，『インタビューの社会学——ライフストーリーの聞き方』せりか書房。

桜井厚・小林多寿子，2005，『質的研究入門』せりか書房。

桜井厚・石川良子編著，2015，『ライフストーリー研究に何ができるか——対話的構築主義の批判的継承』新曜社。

【社会 8】本多真隆

あなたが興味をもっている家族および親密な関係に関する事象（例：父親の子育て、結婚のあり方など）をひとつ取り上げ、それが日本の近代化のなかでどのように変容してきたのかを、以下の指示に従って論じなさい。

①その事象が、前近代社会と近代社会でどのように異なるのかを、社会学、歴史学の参考文献（3冊以上）を踏まえて論じること。

②近代以降に関しては、対象とする事象を論じるために、参考文献とは別に、5点以上の一次資料を引用すること。資料の収集は、国立国会図書館（国会図書館デジタルコレクション）、公益財団法人大宅壮一文庫、大学図書館などを活用するとよい。なお、①の参考文献からの孫引きは避けること。集めた資料が一次資料に該当するか迷うときには、本多に問い合わせること。

③選択する事象によっては、近代以降もさまざまな変容があったことが想定される。可能な限り現代の状況が浮き彫りになるようにその変容をまとめること。

【社会 9】 李旼珍

いま私たちは工業社会の時代を超えて新たな発展段階の時代に入っており、そうした社会や経済は「ポスト工業社会」、「情報社会」、「ニュー・エコノミー」、「知識経済」といった様々な用語で議論されている。いずれの用語の社会や経済においても、人々の働き方は大きく変化していると言われている。3つ以上の文献を読み、「ポスト工業社会」、「情報社会」、「ニュー・エコノミー」、「知識経済」における働き方の変化に関する諸議論を整理したうえ（諸議論の整理は4つの用語すべてについて行うこと）、働き方の変化に関する仮説を立て、働いている人（3名以上）を対象にインタビューを実施し、仮説の検証や検証結果に関する考察を行いなさい。

【社会 10】 山本崇記

21世紀が人権の世紀と言われてから久しい。しかし、私たちが生きるこの世界は、人権がことごとく蹂躪されている。一方で、「地域共生」や「ダイバーシティ」等がかまびすしく叫ばれ、陳腐化している。そのような中で、社会的マイノリティをめぐる現状は、国内・国外ともに変容の真っ只中にあると言って良い。そこで、あなたに関心を持つマイノリティに関わる諸問題（人権課題）を一つ取り上げ、下記の手順に従って、4000以上のレポートをまとめなさい。ただし、レポートとは言え、卒業研究であるので、「論文」としての体裁（章節項、文献注、参考文献等）を整えることに十分注力すること。

- (1) 具体的なマイノリティに関する課題を取り上げ、論じるテーマを簡潔なタイトルとして明示する。
- (2) 関連する社会学的研究（論文、書籍等）を5点以上参照し、適切に言及・引用すること。ただし、当該テーマが学際的な研究に及んでいる場合があるので、法学や心理学等、隣接領域の研究を加えることは差し支えない（※上記5点にはカウントしないことに注意）。
- (3) 当該テーマに関するマクロな文脈—制度・政策・歴史／国際社会・国・地方自治体—について、法律、政策文書、社会統計や新聞記事等を幅広く踏まえる。
- (4) 実際に関連するマイノリティ当事者やコミュニティの「声」をデータとして活用する。関係者へのインタビューや二次データ（当事者の語りや当事者自身の手による書籍等）でも良い。
- (5) (1)～(4)を踏まえて、自身の考察を加えて、結論付ける。

レポートの作成に際して、疑問や悩むところがあれば、適宜、山本まで連絡・相談すること。